承認組合（※）による農業法人への出資事例

【承認組合の概要】

組 合 名 称	ほくよう農業地域活性化ファンド投資事業有限責任組合	
運 営 主 体	株式会社北海道二十一世紀総合研究所	
組 合 員	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社北洋銀行 ・株式会社北海道二十一世紀総合研究所 ・株式会社日本政策金融公庫 	
組 合 規 模	2億円	
投 資 対 象 の 範 囲	北海道内の農業法人	
上 記 組 合 に 関 する 問 い 合 わ せ 先	担 当 部 署	株式会社北海道二十一世紀総合研究所
	連 絡 先	T E L : 011-231-3053

※「承認組合」とは、農業法人投資育成事業に関する計画について農林水産大臣の承認を受け、農業法人の株式等の取得及び投資先農業法人に対して経営又は技術の指導を行う投資事業有限責任組合のことです。

【出資概要】

事 例 1	出 資 先 名	株式会社徳寿ファーム
	所 在 地	北海道白老郡白老町
	事 業 内 容	肉牛の生産
	出 資 額	30 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	当社は、焼肉店「徳寿」を運営する梨湖フーズ株式会社のグループ会社であり、当社が生産する肉牛を最終的に「徳寿」で提供する計画。現在は、令和3年7月の出荷開始を目指し、和牛の肥育に取り組んでいる。本事業は、企業の農業参入による地域農業の持続的発展、地域活性化が見込まれるため、運転資金に対して出資。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和2年3月

事例 2	出 資 先 名	北海道ワイン後志ヴィンヤード株式会社
	所 在 地	北海道小樽市
	事 業 内 容	醸造用ブドウの生産
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	当社は「おたる醸造」などのブランドで知られる北海道ワイン株式会社のグループ会社であり、後志管内の離農が進む農地の受け皿や新規就農者への技術承継といった地域全体への機能発揮を図るものとして設立。当社が生産する醸造用ブドウは、新たな GI 北海道ワインブランドを確立し、輸出を含む販路拡大につなげる。本事業は、企業の農業参入による地域農業の持続的発展、地域活性化が見込まれるため、運転資金に対して出資。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和 2 年 10 月

事例 3	出 資 先 名	有限会社加藤農場
	所 在 地	北海道芦別市
	事 業 内 容	稲わらを活用した家畜飼料と米麴の生産
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社は、もち米を中心に蕎麦・酒米の生産を行う大規模稲作農家で、新たに「稲わら」を原料とした家畜飼料や米麴の生産販売など先進的な取組を行う農業法人。離農跡地を積極的に引受け、生産基盤を維持する地域農業の中核的存在であること、耕種農業と畜産の「耕畜連携」を進め、農業の持続的発展に寄与する取組を行っていることから、運転資金及び設備資金に対して出資。
	出 資 金 の 使 途	運転資金及び設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和 5 年 12 月

事例 4	出 資 先 名	株式会社Frontline
	所 在 地	北海道旭川市
	事 業 内 容	うるち米・小麦・大豆等の生産販売
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社は、上川管内旭川市の若手農業者 5 名が共同で設立。主に有機米や輸出用米を含むうるち米のほか、小麦や大豆等の穀物を生産。農繁期は地域の福祉施設から障がい者雇用等の「農福連携」取組を通じて地域社会への貢献も果たしている。離農跡地を積極的に引受け、生産基盤を維持する地域農業の中核的存在となること、地域農業の持続的発展に寄与する取組を行っていくことから、設備資金に対して出資。
	出資金の使途	設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和 6 年 3 月

事例 5	出 資 先 名	株式会社ヴァン・メティス
	所 在 地	北海道夕張郡栗山町
	事 業 内 容	醸造用ぶどうの生産
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社は、栗山町初の醸造用ぶどう栽培事業者で、北海道や北海道大学を中心に設立された「北海道-ワインプラットフォーム」が就農支援を行った初の案件。代表者は母国のフランスでぶどう栽培や醸造学を学び、世界各国のワイナリーでの勤務を経て、栗山町にて醸造用ぶどうの栽培を開始。栗山町におけるワイン事業の振興および新たな地域産品の創出などによる地域活性化が期待できることから、運転資金として出資。
	出資金の使途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和 6 年 5 月

事例 6	出 資 先 名	株式会社あぐりてーる
	所 在 地	北海道富良野市
	事 業 内 容	農作物(ミニトマト、アスパラ、きゅうり)の生産
	出 資 額	20 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社は、物流事業者の株式会社ロジネットジャパンが、地元農協のサポートのもと、事業承継を見据えた農業参入を行う案件。代表者となる富良野市の生産者の農地や栽培ノウハウ等を引き継ぎ、トマトを中心とした施設栽培による営農を展開する。地域の新たな担い手となることに加え、ロジネットジャパン社の経営ノウハウを活かして、地域農業の持続的な発展に寄与することから、運転資金として出資。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和6年5月

事例 7	出 資 先 名	株式会社丸北農場
	所 在 地	北海道上川郡美瑛町
	事 業 内 容	農作物(たまねぎ、イチゴ、そば)の生産
	出 資 額	20 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社は、美瑛町にてソテーオニオンやオニオンペースト等の加工販売を行う株式会社丸北北海道が、地元生産者の事業基盤を継承する形で農業参入し、加工品の原料となるたまねぎに加え、栽培施設を整備し、新たにイチゴの生産を行う。事業継承による地域農業の維持・発展に寄与するほか、生産・加工・販売が一体となった円滑なサプライチェーンの構築が期待されることから、運転資金及び設備資金として出資。
	出 資 金 の 使 途	運転資金及び設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和6年6月